

札幌保健科学雑誌投稿規程

(2021年4月より適用)

1. 投稿者の資格：

- 1) 本学の教員、大学院生、研究生、訪問研究員、および本学に関わりを有する者。
- 2) 札幌保健科学雑誌編集委員会（以下、編集委員会という）からの依頼論文の著者。
- 3) 筆頭著者が本学所属でない場合、共著者には本学教員が含まれていなければならない。

2. 掲載原稿の種類：

- 1) 掲載原稿の種類は、和文または英文の原著、総説、研究報告、報告、そのほか編集委員会が認めたものとする。
- 2) 原著は、独創的で新たな知見が論理的に示されたものをいう。総説は、ある課題について広く研究の動向を紹介するものをいう。研究報告は、原著には及ばないが報告する意義のあるものをいう。報告は、症例や臨床（教育）実践、その他ユニークな試みについて記述したものをいう。
- 3) 他誌に未発表あるいは投稿中ではないものに限る。

3. 倫理的配慮：

- 1) 人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮していることを要件とし、その旨を本文中に明記すること。
- 2) 本学、または研究実施機関における研究倫理審査委員会等の研究倫理審査を受けていること。また、その旨を本文中に明記し、承認番号（ない場合は承認年月日）も記載すること。

4. 利益相反および公的研究費の開示：

- 1) 投稿論文の内容について、「北海道公立大学法人札幌医科大学利益相反管理規程」に基づき必要な開示を行うこと。同規程の第4条及び第5条の各号に該当する場合は、関係する企業・団体名等を本文の末尾にこれを記載し、公表すること。該当しない場合は「開示すべき利益相反状態は存在しない」と明記すること。
- 2) 研究費の補助を受けている場合、公的機関や私的企業の名称等を明記すること。

5. 著者の責任：

投稿論文の内容については、著者全員が説明責任を持たなければならない。

6. 原稿の執筆要領：

原稿の作成については、「原稿執筆要領」として別に定める。

7. 原稿の受付と採択：

- 1) 本誌は年1回刊行する。投稿締切は、編集委員会が定め告知する。
- 2) 投稿論文は、編集委員会が定めた期間において随時受付け、各締切日以降に査読を開始する。
- 3) 投稿論文の内容に近接する研究領域の専門家による査読を行い、必要に応じて編集委員会から原稿の修正および論文種類の変更を著者に求めることがある。
- 4) 最終の採択は、査読を経て編集委員会が決定する。
- 5) 依頼論文は、1)～4)の限りではない。

8. 著作権

掲載された著作物の著作権は札幌医科大学に帰属する。

9. 校正：

著者校正は1回のみ、誤字・脱字の訂正の範囲内とし、新たな加筆、改変は認めない。著者校正は指定された期限内に行うこと。

10. 別刷：

別刷は著者の実費負担とする。掲載決定後の最終原稿提出時に別刷の必要部数を明記する。

11. 原稿の提出先：

- 1) 投稿原稿は正本1部と、著者名・所属・倫理委員会名称（承認番号）・謝辞・利益相反開示・研究助成機関（研究課題番号）を黒塗りにして伏せたPDFファイルをCD-ROM（又はUSBメモリー）で提出する。
- 2) 掲載決定後は、最終原稿の正本1部とMS-WordファイルをCD-ROM（又はUSBメモリー）で提出する。
- 3) 投稿原稿の提出先は、本学事務局学務課気付札幌保健科学雑誌編集委員会とする。

12. 規程の改正：

編集委員会は投稿規程を改正することがある。

札幌保健科学雑誌原稿執筆要領

(2017年5月より適用)

1. 原稿の構成

- 1) 原稿は、和文または英文とし、原稿の記載順序は、論文種類、表題、著者、所属、要旨（和文400字／英文200語程度）、キーワード、本文、引用文献、図表の順とする。和文原稿には英文の、英文原稿には和文の、表題、著者、所属、要旨、キーワードを1枚にまとめて添付する。
- 2) 要旨および本文（引用文献を含む）の末尾には、文字数を明記する。
- 3) キーワードは、5語以内とし、論文が確実に検索できるような具体的、的確なものとする。
- 4) 英文の要旨、本文には、英語を母国語とする有識者のサイン入り英文校正証明書を添付する。
- 5) 論文の体裁に関するチェックリストに必要事項を記載し添付する。
- 6) 著者の論文への責任および著作権に関する確認のため、自筆署名した投稿確認・同意書を添付する。

2. 原稿の規定文字数（語数）、図・表および写真：

- 1) 原著、総説および研究報告は、本文、文献、図表を含め原則12000字（英文5000語）以内とする。
- 2) 報告は、本文、文献、図表を含め原則6000字（英文2500語）以内とする。
- 3) 図表は、刷り上り1ページ2000字（英文800語）、2分の1ページ1000字（英文400語）、4分の1ページ500字（英文200語）で換算する。
- 4) 図・表および写真的挿入箇所を原稿に指示する。
- 5) 印刷は、原則として白黒とする。
- 6) 依頼論文については、編集委員会で定める。

3. 原稿作成における注意事項：

- 1) 原稿は、原則としてMS-Wordで作成し、A4判、フォント10.5ポイント、字数を1枚に40字×30行（マージン：上35mm、下30mm、左30mm、右30mm）とする。本文の各ページには、行番号およびページ番号を入れる。英語の原語綴は行末で切れないように、その言葉の頭で改行する。MS-Wordにない文字や記号は手書きで明瞭に記載する。
- 2) 現代かな遣いに従い専門用語以外は当用漢字とする。
- 3) 度量衡C G S単位に限る。
- 4) 文中の外国人名、地名、科学用語は、原語（タイプ印書）あるいはカタカナを用い、固有名詞、ドイツ語のみ頭文字は大文字とする。
- 5) 文中にしばしば繰り返される語は、略語を用いて差し支えないが、文中の初出の時に完全な用語を用い、以下、略語を用いることを明記する。
- 6) 本文は各専門領域の慣習に従うものとする。

4. 引用文献：

- 1) 論文中に他の著作物からの引用を行う際は、著作権法で定められているルールに基づいて行う。
- 2) 引用の範囲を超えた「転載」が必要な場合は、著者の責任において転載許諾の手続きをとる。
- 3) 引用文献は、原則として本文中に附した引用番号順に記載する。但し、やむを得ない場合は、各専門領域の慣習に従うことを認める。
- 4) 著者名は3名までを記載し、それ以上は、「～他」、「et al.」とする。
- 5) 英文誌名は、PubMedで用いられるJournals referenced in the NCBI Databases（最新版）<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>に準じて記載する。和文誌名は、省略せずに記載する。
- 6) ピリオド、コンマ、ハイフン、数字等は半角とする。
- 7) 引用文献の記載方法：

雑誌：

引用番号) 著者名：題名、雑誌名 卷：頁 - 頁、西暦年

(例)

- 1) 安川揚子、中井夏子、田野英里香：東日本大震災の被災地における看護師の医療支援活動報告. 札幌保健科学雑誌1: 79-83, 2012
- 2) Walker JM, Akinsanya JA, Davis BD, et al: The nursing management of elderly patients with pain in the community: study and recommendations. J Adv Nurs 15: 1154-1161, 1990

単行本：

a. 引用番号) 著者名：書名、(巻)、(版)、発行地、発行所、西暦年、p頁-頁

(例)

- 3) 秋山 洋：手術基本手技. 東京、医学書院、1975, p57-76

4) Goligher JC, Duthie HL, Nixon HH: *Surgery of the anus rectum and colon*. London, Bailliere Tindall, 1980, p424-501

b. 引用番号) 著者名:分担項目名. 編者名. 書名. (巻). (版). 発行地, 発行所, 西暦年, p頁-頁
(例)

5) 小黒八七郎:大腸検査法の進歩. 小黒八七郎, 吉田成昭編. 大腸癌—診断と治療. 東京, 日本メディカルセンター, 1996, p69-78

6) Allen A, Hoskins AC: *Colonic mucus health and disease. (Diseases of the colon, rectum, and anal canal)*. Kirsner JB & Shorter RG ed. Rochester, Williams & Wilkins, 1988, p65-94

翻訳本 :

引用番号) 原著者名 (訳者名) : 翻訳書名. (巻). (版). 発行地, 発行所, 西暦年, p頁-頁
(例)

7) Creswell JW, Plano-Clark VL (大谷順子訳) : 人間科学のための混合研究法. 京都, 北大路書房, 2010, p69-74

8) Cook AM, Hussey SM (上村智子訳) : 作業療法実践のための電子支援技術. Pedretti LM ed. (宮前珠子, 清水一, 山口昇監訳). 身体障害の作業療法. (第4版). 東京. 協同医書出版, 1999, p583-599

電子文献 :

引用番号) 著者名: 題名. 誌名. 西暦年, 卷数: 頁-頁. doiまたは入手先URL, (アクセス年月日)
(例)

9) 松原茂樹, 加藤芳秀, 江川誠二: 英文作成支援ツールとしての用例文検索システムESCORT. 情報管理. 2008, 51:251-259, <http://joi.jlc.jst.go.jp/JST.JSTAGE/johokanri/51.251>, (2008-08-15)

10) Mabon SA, Misteli T: Differential recruitment of pre-mRNA splicing factors to alternatively spliced transcripts in vivo. PLoS Biol. 2005, 3: e374. doi:10.1371/journal.pbio.0030374, (2008-03-09).

11) 厚生労働省: C型肝炎について一般的なQ&A. 改訂第6版. 2006, <http://www.med.or.jp/kansen/bandc/cqa.pdf>, (2007-10-26)

5. 修正原稿提出時の注意事項 :

- 1) 査読者や編集委員会の指摘にもとづき修正原稿を提出する際は、修正個所がわかるようにアンダーラインやマークを付すこと。
- 2) 修正原稿とともに査読者や編集委員会のコメントに対する回答書を提出すること。